

湖建発第 39 号
平成15年2月21日

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖工事事務所長様

湖北町長 丸岡一至

「淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料（第1稿）」に対する意見について

平素は、湖北町の河川整備等建設行政にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、標記の件について別紙により意見書を送付いたしますのでよろしくお取り
計らい願います。

意 見 書

湖北町は、西に美しい琵琶湖岸、東に小谷山などの緑の山々、中央には南北に流れる高時川を挟んで豊かな田園風景が広がっています。

広い平野と豊かな水資源に恵まれた本町は、従来から農業を中心とした産業が盛んでありました。特に高時川は湖北5,000haの水田に近代的な農業経営が計られ大きな恵みをもたらし人々の生活に豊かさと心の安らぎを与えてきました。

また、河川流域では簡易水道施設の水源池や消雪のポンプ施設など多くの施設がありその需用と恩恵は大きいものがあります。

しかし、その高時川も時としては大雨による被害をもたらしてきました。

当町の区間においては河川水による民地への浸食が激しいため、護岸等の早急な設置や、親水事業の要望をしているのでありますが、上流での計画によって検討をしていきたいとの回答にとどまっているところでもあります。その間にも浸食は大きくなり、被害が拡大することになります。

現在全国各地では、地球温暖化による集中的な洪水が起こり、多くの被害を起こしていることは、事実であります。

反面、毎年冬季における降雪量が減少しており、川での保水量がなくなっていく状況でもあります。本年もかなり積雪量が少なく、今後の河川水不足が心配されます。特に高時川は、近年では年数回の雨による一気水が流れるものの、平均して河川を流れる期間は殆ど見られないのが現実である。

したがって、これからの農業経営を始め、住民生活に欠かせない生活用水として安定的な水を確保するために、ダムを含めた施設を早急に設置する必要があると考えられます。

また、国直轄施設以外については、今後県で河川整備計画で検討されることになるであろうとの説明でありましたが、丹生ダム下流については、県と一体的な整備計画を行っていただきたいと思えます。

以上のことをご理解いただきまして、当所の整備計画を早急に推進していただきませうよろしくお願いいたします。